

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎 脱カプセル	参考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)
アイトロール錠20mg			○	○	ハ	
アコファイド錠100mg			○	○	ハ	
アサコール錠400mg		×	×	×		放出制御製剤のため、原則投与不可。
アザルフィジンEN錠250、500mg	別	腸	△	条可(腸)	ハ	腸溶性(胃腸障害防止)のため腸痙のみ投与可。
アジャストAコーワ錠40mg	粉	直前	P	○	ハ	代替薬: センソサイド顆粒、ピコスルファートNa液他
アジルバ錠20、40mg	別		△	○		
アジレクト錠0.5、1mg			○	○	×	
アストミン錠10mg			○	○	ハ	
アスパラカリウム錠300mg		×	×	×*	ハ	*吸湿固化→アスパラカリウム散を使用
アスパラカリウム散50%			○			施設判断
L-アスパラギン酸Ca錠200mg「サワイ」	別		△	○(湿)	ハ	
アスピリン原末「マルイシ」		×	悪			マルイシは未記載。他メーカー3社とも分散性が悪く、簡易懸濁不適の記載
アスペノンカプセル20mg			○	×*	ハ	*脱カプセル不可、局麻作用あり。
アスベリン錠20			○	○	ハ	
アゼルニジピン錠16mg「ケミファ」	別		△	○*	ハ	*4週間まで
アソセミド錠30、60mg「JG」			○	○	ハ	
アダプチノール錠5mg		×	×	×(光)	ハ	
アタラックス錠10mg		×	×	△	ハ	1週間程度なら粉碎OK
アデホスコワ顆粒10%		不適	悪		ハ	胃酸失活防止腸溶性顆粒型
アデムパス錠0.5、1、2.5mg			○	○(1ヶ月)	×	メーカーデータあり。
アーテン錠2mg			○	○	ハ	
アドソルピン原末			やや悪		ハ	
アドナ散10%			良		ハ	
★アトルバスタチンOD錠5、10mg「トーワ」			○	一	ハ	
アナストロゾール錠1mg「DSEP」			○	×(調)		粉碎○→×(他メーカーすべて)
アフィニトール錠5mg			○	×(調)	ハ	光・湿度に不安定。抗癌剤のためカテーテルチップを使用。
アプレピタントカプセル80、125mg「NK」			○	○脱カプ	×	カプセル内の顆粒は沈殿しやすい。シリンジにカプセルの皮の付着あり。
アベロックス錠400mg			○		ハ	懸濁量多いが通過。(HB)
アマージ錠2.5mg			○	×*	ハ	*粉碎後1ヶ月安定のデータもあるが、屯用で使用する薬剤のため、施設判断にて粉碎不可。
アマレット配合錠4番「DSEP」			○	○(光)	ハ	
アミオダロン速崩錠100mg「TE」			○	一	ハ	
アミティーザカプセル24μg		△	○*	×	×	*懸濁10分で軟カプセルが溶けて(すべてではない)内容物が浮かんでいる状態、カプセルを吸わず、内容物のみ投与する。
アミノレバンEN配合散		Fr注	良		ハ	最小通過サイズは、12Frのため注意。
アムバロ配合錠「ケミファ」			○	条可(光)*	ハ	*遮光要(アムロジピンの含量低下)
★アムロジピンOD錠2.5、5mg「ファイザー」			○	一	ハ	
アメナリーフ錠200mg			○	○	東	メーカーデータなし
アモキシシリンカプセル250mg「トーワ」			○	○	ハ	カプセル剤皮残留あり。フラッシュ2回で問題なし。
アリナミンF糖衣錠25mg	別		△	○	×	
アルサルミン細粒90%			良		ハ	
アルダクトンA細粒10%			良		ハ	
アルドメット錠250mg			○	○	ハ	多めの水で少しずつ洗浄
アルファカルシドール錠0.25μg「アメル」	別		△	○	ハ	
アルファカルシドールカプセル1μg「日医工」			○	×	ハ	内容物液状、簡易懸濁後は温湯で洗浄。カプセル残渣あり、注入器、チューブへの付着量不明。
アルブラゾラム錠0.4mg「サワイ」			○	○	ハ	
アレセンサカプセル150mg			○	×*		*データなし。抗癌剤のためカテーテルチップを使用。
アレピアチン錠100mg			○	○	ハ	散剤あり。(錠剤と散剤では体内動態に差がある)
★アレンドロン酸錠35mg「VTRS」		注意	○	注意*	ハ	*リスク有り(30分間の坐位または立位が必要)、相談を。単独投与、30分あける。錠剤はそのまま5分で溶ける。
アロチノール錠10mg「DSP」	粉		P	×(光)	ハ	HBでは、△(破壊要・時間長め)だが、当院判断。
アロプリノール錠100mg「サワイ」			○	○	ハ	
アンコチル錠500mg			○	○	ハ	
★アンプリセンタン錠2.5mg「KMP」			○	○	×	
アンブロキソール塩酸塩徐放OD錠45mg「ZE」		直前	□	一	ハ	施設判断 粉×→一
アンブロキソール塩酸塩錠15mg「日医工」			○	○	ハ	
★イグザレルトOD錠10、15mg			○	一	ハ	
イクスタンジ錠40、80mg			○	×(癌)		10FrOK、抗癌剤のためカテーテルチップを使用。
★イグラチモド錠25mg「サワイ」			○	○	×	

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎脱カプセル	参考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)	
イコサペント酸エチル粒状カプセル900mg「サワイ」		注意	○	×	ハ	カプセル内容物は油状であり、シリンジに付着しやすい。ポリスチレン製器具の溶解に注意。チューブへの付着量不明。	
イスコチン錠10mg			○	条可(光湿)	ハ	散剤あり(乳糖との配合変化に注意。)	
イスコチン原末			○			バレイショデンブで賦形する。	
イトブリド塩酸塩錠50mg「サワイ」	粉	直前	P	○	ハ		
イトリゾールカプセル50mg		Fr注	×	○*	ハ	16Fr以上で通過。*顆粒粉碎は不可。	
EPLカプセル250mg		×	×	×	ハ	ディスペンサーチューブにこびりつく。	
イブランス錠25、125mg			○	○(癌)	×	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。	
イミダプリル絵酸塩錠5mg「DSEP」	別		△	○	ハ		
イミダフェナシンOD錠0.1mg「杏林」			○	—	ハ		
イムラン錠50mg			○	×	(調)	ハ	多めの水で洗浄
イリボ-OD錠2.5、5μg			○	—			
イルアミクス配合錠HD「DSPB」			○	×			
イルソグラジンマレイン酸塩錠4mg「日医工」			○	○	ハ		
イルベサルタン錠100mg「DSPB」			○	○			
インデラル錠10mg			○	条可(光)	ハ	洗浄多めに。多少塊があるが通過可能。	
ヴォトリエント錠200mg		×	×	×	×	破壊して内服したときCmax、AUC↑	
★ウブトラビ錠0.2、0.4mg			×	×		データなし、東では○	
ウブレチド錠5mg			○	条可(湿)	ハ		
ウラリット-U配合散			良		ハ		
ウルソデオキシコール酸錠100mg「JG」			○	○	ハ		
ウルソ顆粒5%			良		ハ	ウルソデオキシコール酸錠(○)を使用	
エキセメスタン錠25mg「NK」			○	○*	ハ	*遮光 抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。	
エクア錠50mg			○	○		暗所1ヶ月までOk(それ以外のデータなし)	
エクセグラン散20%			良		ハ		
エクセグラン錠100mg			○	○	ハ		
★エクフィナ錠50mg	別		△		×	添加剤に不溶性のものあり、残渣が残ることがある。フラッシング必要。	
エクメット配合錠LD		×	×	×			
★エストリール錠0.5mg			○	○			
エスワンタイホウ配合OD錠 T20、T25			○	×	(癌)	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。	
★エゼチミブ錠10mg「ニプロ」			○				
★エースコール錠2mg			○	○	ハ		
★エソピクロン錠1、2mg「トーワ」			○	○	×		
エチゾラム錠0.5mg「日医工」			○	○	ハ		
★エドルミズ錠50mg			○		×		
エナラプリルマレイン酸塩錠5mg「サワイ」			○	条可(湿)	ハ		
エバステルOD錠10mg			○	—			
★エピナスチン塩酸塩錠20mg「ケミファ」			○	○	ハ		
エビプロスタット配合錠DB	粉	腸	P	条可(腸)	ハ	腸溶性 ハンドブックは懸濁不可、粉碎不可、(東)も簡易懸濁不可、他剤を検討。	
エビリファイ錠6mg			○	○	ハ		
エフィエント錠3.75mg			○	○*		*遮光で1か月まで	
エフィエントOD錠20mg			○	—			
エプトール錠250mg	粉	直前	P	条可○	ハ	施設判断。ハンドブックは簡易懸濁、粉碎とも不適。吸湿に気をつけて室温28日までOK。	
エフピーOD錠2.5			○	—		覚せい剤原料	
エブランチルカプセル15mg		Fr注	○*	○	ハ	*徐放性顆粒、14Fr以上で通過。よく洗い流す。崩壊時間は短く。2版では○だが、3版では不適×	
エベリゾン塩酸塩錠50mg「トーワ」	別		△	○	ハ		
MSコンチン錠10、30mg		×	×	×	ハ	麻薬、徐放性	
エリキユース錠2.5、5mg			○	○	ハ		
エリスパン錠0.25mg			○	△(光)		高温での安定性データ無し	
エリスロシン錠200mg	別	腸	△	条可(腸)	ハ	胃酸で失活 腸ろうのみ投与可。散剤(DS)あり。	
エルカルチンFF錠250mg	別	直前	△*	×		*直前に包装の上からできるだけ小さく粉碎し、水に懸濁。吸湿性高く、裸錠を30度湿度75%で放置すると1日で内部が液化のため1包化不可。55度の温湯ではフィルムコーティングが溶け残る。	
エルテカルシトールカプセル0.75μg「サワイ」			○	×	ハ	ディスペンサーチューブに付着あり。	
★エンタカポン錠100mg「サンド」			○	○	×		
エンドキサン錠50mg		×	×	×	(調)	ハ	*高温で不安定、また飛散による被曝のため粉碎不可。40度前後ですぐに溶解する。カテーテルチップを使用し、シリンジ内で水で懸濁可能。
エンテカビル錠0.5mg「EE」			○	○遮光	ハ		
★エンレスト錠50、100、200mg	粉	直前	P	○		データなし	

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎脱カプセル	参考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)
オイグルコン錠2.5mg			○	○	ハ	
オキシドロン徐放錠NX5、20mg「第一三共」		×	×	×	×	麻薬、徐放錠
オキノーム散2.5、5mg		良			ハ	
オークル錠100mg	別		△	○	ハ	
オーグメンチン配合錠250RS		×	×	×	ハ	吸湿性（東）では簡易懸濁○、潮解性のため、調剤室での粉碎不適と記載あり。
オースギ大黄甘草湯エキス錠（SG-84T）		×	×		ハ	
オダイン錠125mg			○	×	ハ	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。
オプスミット錠10mg			○	○		メーカーデータあり
オフエブカプセル100、150mg		×	×	×		油状の軟カプセル、メーカーデータなし。冷所保存。
★オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル2g「武田テバ」		注意	○*	×		*ポリスチレン性器具の容器は避ける
オランザピンOD錠5mg「トーワ」			○	-	ハ	
オルケディア錠1、2mg			○	×	×	粉碎：1ヶ月で外観変化、類縁物質増加
★オルミエント錠2mg			○	?	東	
★オルミエント錠4mg			×	?		東では4mgも○
オルメサルタンOD錠20mg「DSEP」			○	-		
オロパタジン塩酸塩錠5mg「明治」			○	条可（光）	ハ	
★オンジェンティス錠25mg			○	○遮光	×	
ガスコン錠80mg			○	○	ハ	多めの水で洗浄
カバサル0.25mg			○	×	ハ	
ガバペン錠200mg	別		△	△不明	ハ	
カベシタピン錠300mg「ヤクルト」			○*	×		10分×、30分で○、抗癌剤のためカテーテルチップを使用。
★カボメティクス錠20、60mg			○	×	×	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。
カムシア配合錠HD「あすか」			○	×	ハ	
カモスタットメシル酸塩錠100mg「日医工」			○	○	ハ	
ガランタミンOD錠4、8、12mg「DSEP」			○		×	
カルナクリン錠25	別	腸	△	条可（腸）		腸ろうのみ投与可。腸での安定性不明。
★カルバゾクロムスルホン酸Na錠30mg「YD」			○	○	ハ	
カルベジロール錠2.5、10mg「サワイ」			○	条可（光）	ハ	
カルボシステイン錠500mg「トーワ」			○	○	ハ	
★カログラ錠120mg			×	×		東では10分放置すれば投与可（○）
カロナル細粒20%		良			ハ	カロナル錠（○）を使用
カロナル錠200mg			○	○	ハ	
カンデサルタン錠4mg「あすか」			○	○	ハ	
キックリンカプセル250mg		×	×	×		
★キニジン硫酸塩錠100mg「VTRS」			○		ハ	
キネダック錠50mg			○	条可（光）	ハ	
キャピリン配合錠		×	×	×	×	腸溶錠
クエチアピン錠25mg「ヨシトミ」			○	○	ハ	
クエン酸第一鉄Na錠50mg「サワイ」	別		△	×	ハ	施設判断。（ハンドブックは簡易懸濁不適）
グーフィス錠5mg			○	×	ハ	
グラケープセル15mg			○	×	ハ	油状物質付着で含量低下の可能性あり。
グラセプターカプセル0.5、1、5mg		×	×	×		徐放性のため
グラマリール錠50mg	別		△	○	ハ	
★クラリスロマイシン錠200「サワイ」			○	○	ハ	
クラリチン錠10mg			○	○	ハ	
グランダキシン錠50			○	○	ハ	多めの水で洗浄。
グリベック錠100mg			○	×	ハ	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用
グリミクロンHA錠20mg			○	条可*		（均一性）
グリミクロン錠40mg			○	条可*	ハ	（均一性）
★グリメピリド錠0.5、1mg「三和」			○	○	ハ	
グルベス配合錠			○	○*	ハ	*3か月まで
グレースビット錠50mg			○	△*		*8日で着色するが含量に大きな変化なし
クレメジン細粒分包2g		不適			ハ	
クレメジン速崩錠500mg			-	-		水で崩壊、顆粒が沈殿しやすいため軽く振とうしながら
クロピドグレル錠25、75mg「SANIK」	別		△	○		
ケイキサレート散		悪			ハ	
★ケイキサレートドライシロップ76%		良	注意			主成分が沈殿するため、軽く振とうしながら全量投与。
ゲフィチニブ錠250mg「DSEP」			○	○（癌）		抗癌剤のため、カテーテルチップを使用
ケーワン錠5mg			○	条可（湿光）	ハ	チューブ等への付着わずかにあり。
ケタスカプセル10mg		×	×	×	ハ	徐放性顆粒＋腸溶性、ディスペンサーから出ない。

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎 脱カプセル	参考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)
ケフラルカプセル250mg			○	○	ハ	
★ケレンディア錠10m20mg			○	○	×	
コートリル錠10mg			○	○	ハ	
コートン錠25mg			○	○	ハ	
コララン錠2.5、5、7.5mg			○	×	×	粉碎データなし
コルヒチン錠「タカタ」0.5mg			○	○	ハ	
コレバイン錠500mg			○	×	(湿)	ハ
コロネル細粒83.3%		不適	悪		ハ	
コントミン糖衣錠12.5mg	別		△	条可(光)	ハ	
コンブラビン配合錠		×	×		ハ	外殻層にクロピドグレル、腸溶性の内核にアスピリンを含む有核錠
サーティカン錠0.25、0.75mg		?	?			*40℃以下ならOK以上のデータなし。
サイクロセリンカプセル250mg「明治」			○	○	ハ	
サイトテック錠200			○	×	(湿調)	ハ 調剤者→催奇形性の可能性あり
サムスカOD錠7.5、15mg			○	ー	×	
サラジェン錠5mg			○	○	ハ	粉碎後1ヶ月安定。
サラゾピリン錠500mg	別		△	○	ハ	
ジェイソロフト錠25mg			○	×		
ジェニナック錠200mg			○	○		粉碎によりTmaxが1hr→30min、安定性1ヶ月OK。懸濁液は2時間後含量低下なし。
ジェノゲストOD錠1mg「モチダ」			○	ー	ハ	
★シクロスポリンカプセル10、25、50mg「サンド」			○	×		
ジスロマック錠250mg			○	○	ハ	
ジスロマック細粒小児用10%			良		ハ	
★ジセラカ錠100、200mg			○	○		
シナール配合錠		×	×	×	ハ	パントテン酸の分解。
ジピリダモール錠100mg「トーワ」			○	○	(湿光)	ハ
ジフルカンカプセル100mg		×	×	○	ハ	カプセルの中身が塊となって残る
シプロキササン錠200mg			○	○	ハ	
シベンゾリンコハク酸塩錠50mg「トーワ」	別		△	○	ハ	
シベンゾリンコハク酸塩錠100mg「トーワ」			○	○	ハ	
★ジャディアンス錠10mg			○	○	東	
ジャヌビア錠12.5、50mg			○	○		苦味のためフィルムコティング。75% 40° 4週間力価低下なし。吸湿性なし。 *徐放性、12Fr以上で脱カプセル可。HBは粉碎不可。(施設判断)
ジルチアゼム塩酸塩Rカプセル100mg「サワイ」	粉	直前	P	○*	ハ	
シルニジピン錠10mg「サワイ」			○	○	ハ	
★シルムロ配合錠HD「トーワ」			○	○		
シロスタゾールOD錠100mg「サワイ」			○	ー	ハ	
シロドシンOD錠4mg「DSEP」			○	○		
シンメトレル錠50mg			○	○	ハ	
スインプロイク錠0.2mg			○	×	ハ	
スーグラ錠50mg			○	○*		*30日までOK
スーテント錠12.5mg			○	×	(調)	ハ 抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。
スタレボ配合錠L100	別		△	○*		*乳鉢などが着色する
スチバーク錠40mg		×	×	×		半錠も不可
ストロカイン錠5mg			○	×	(湿)	ハ
ストロメクトール錠3mg			○	○	ハ	
スピロラクトン錠25mg「日医工」			○	○	ハ	
スピロベント錠10μg			○	○	ハ	
スプラタストシル酸塩カプセル100mg「サワイ」			○	×	(潮)	ハ 潮解性あり
スベリア錠200mg	別		△	○	ハ	
★スマイラフ錠50、100mg			○	×	×	
★スマトリプタン錠50mg「SPKK」		×	×	×	×	*1ヶ月で含量低下。
セディール錠10mg			○	○	ハ	
セファランチン錠1mg			○	○	ハ	
セファレキシシン錠250「日医工」			○	○	ハ	
ゼフィックス錠100			○	?	ハ	60℃遮光1ヶ月OK⇒温度OK。
セフジトレンピボキシル錠100mg「OK」			○	×	(湿)	
★セフジニルカプセル100mg「トーワ」			○	○	ハ	
セフゾン細粒小児用10%			良		ハ	
セララ錠50mg			○	○	ハ	
セルシン錠5mg			○	○	ハ	

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎 脱カプセル	参考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)
セルシン散1%			良		ハ	
セルセプトカプセル250			○	○		安定性OK。60℃遮光8ヶ月OK⇒温度OK
セルニルトン錠		×	×	×	(湿) ハ	吸湿性。錠剤のまま40℃OK。
ゼルヤンツ錠5mg			○	○	ハ	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。
セレクトール錠200mg	別		△	条可(湿)	ハ	
★セレコキシブ錠100mg「ファイザー」	別		△	○	×	
セレジストOD錠5mg			○	—		HBに普通錠5分○の記載あり。
セlestamin配合錠			○	×	(苦動) ハ	
セレニカR錠200、400mg		×	×	×	(徐)	散剤、水剤あり。(セレニカ顆粒はチューブを通りにくいので水剤がよい)
セレニカR顆粒40%		×	悪		ハ	
セレネース錠0.75mg			○	○	ハ	
セロクラール錠20mg	粉	直前	P	○	ハ	
セロケンL錠120mg		×	×	×	(徐) ハ	徐放剤。
セロケン錠20mg			○	○	ハ	
ゼンタコートカプセル3mg		×	×	×	ハ	腸溶性徐放顆粒を充填したカプセル剤
センノシド錠12mg「セイコー」		×	×	×	ハ	センノサイド顆粒(1錠=0.15g)を使用。
★センノサイド顆粒8%「日医工」			良		ハ	水を含むことで崩壊しやすい顆粒
ソセゴン錠25mg			○	○	(苦) 東	
★ソタロール塩酸塩錠40mg「TE」			○	○	×	
ソピクロン錠7.5mg「トーワ」			○	○	(苦) ハ	
ソフルーザ錠20mg			○	○	(苦) ハ	
★ソリフェナシンコハク酸塩OD錠5mg「トーワ」			○	×	(刺) ×	
★ソルピデム酒石酸塩錠5mg「サワイ」			○	○	ハ	
ダイアモックス錠250mg			○	○	ハ	
タイケルブ錠250mg			○	×	(調) ハ	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用
ダイドロネル錠200	粉	直前	P	○	ハ	
タウリン散98%「大正」			悪		ハ	混ぜながら注入
タグリッソ錠40、80mg		×	×	×	(癌)	
★タクロリムス錠1.5mg「トーワ」			○	○	×	院外専用
タケキャブ錠10、20mg	別		△	条可(光)		
タケルダ配合錠		×	×	×		
タダラフィルOD錠5mgZA「トーワ」			○	—	×	
★タダラフィル錠20mgAD「TE」			○	○	×	
タナドール顆粒75%		不適	悪		ハ	
ダフクリア錠200mg			○	○		
ダーブロック錠1、2、4mg			×			データなし
タフマック配合カプセル		×	×	×	(腸)	55℃10分で酵素活性規定外まで↓。腸溶性コーティングのため脱カ'切'。12Frつまる
タベンタ錠25mg		×	×	×		麻薬
タミフルカプセル75			○	○	ハ	
タムスロシン塩酸塩OD錠0.2mg「あすか」	別	直前	○*	—	ハ	*徐放性が崩れる可能性あり。崩壊後は速やかに使用。
タモキシフェン錠20mg「DSEP」			○	○		
ダラシカプセル150mg			○	○	ハ	
タリージェ錠5mg			○	○	×	
タリージェ錠10mg	別		△	○	×	
タルセバ錠25、150mg			○	×	(調) ハ	苦味・飛散防止のため、フィルムコーティングされている。抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。
炭酸水素ナトリウム「ケンエー」			良		ハ	
★炭酸水素ナトリウム錠500mg「VTRS」			○	—	×	粉碎はせず、散剤を使用
ダントリウムカプセル25mg			○	○	ハ	
タンニン酸アルブミン シオエ						他メーカーは、良またはやや悪だが可能
タンボコール錠50mg			○	○	ハ	
チオラ錠100		×	×	×	(湿) ハ	硬すぎて破壊できない、破壊しても溶け残る。
チガソシカプセル10、25			○	×	(調) ハ	10のみ記載あり。
チギジウム臭化物カプセル10mg「サワイ」			○	○	ハ	
チザニジン錠1mg「日医工」			○	○	ハ	
チラーチンS錠25、50μg			○	○	ハ	HBでは破壊要△、時間長めで○。実験にてそのまま5分○。
沈降炭酸カルシウム錠500mg「三和」	別	単独	○*	—		*水、単独投与(多剤とキレート形成)
★ツイミグ錠500mg	別		△	○		
★ツートラム錠25、50mg		×	×	×		徐放製剤
ツムラの漢方薬			良		ハ	お湯で懸濁させる。(施設判断)
ツベルミン錠100mg	別	腸	△	×	(腸) ハ	胃腸障害のリスク有り。注意。(HBは簡易懸濁×)

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎脱カプセル	参考	備考
ディレグラ配合錠		×	×	×	ハ	
★デエビゴ錠5mg			○	○		
★テオフィリン徐放DS小児用20%「トーワ」			良			
テオロン錠50、100、200mg		×	×	×	ハ	徐放剤のため。テオフィリンドライシロップを使用。
デカドロン錠0.5			○	○	ハ	
デカドロン錠4mg			○		ハ	
テグレート錠100mg			○	○	ハ	
テグレート細粒50%			良		ハ	
デザレックス錠5mg			○	×	東	
テトラミド錠10mg			○	×*(苦)	ハ	*しびれ
★テネリアOD錠20mg			○	—	×	
デノタスチュアブル配合錠		注意	○			包装の上からこまかく砕いて、懸濁可能
テブレノン細粒10%「サワイ」			良		ハ	
テモゾロミド錠20、100mg「NK」			○	×	ハ	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用。
デュタステリドカプセル0.5mgAV「武田テバ」		注意	○	×	×	内容物は油、刺激性あり。女性、小児は内容物に触れない。
★デュロキセチンOD錠20mg「ニプロ」			○	×		腸溶性 施設判断にて○（メーカは残留物のため不適）
テラムロ配合錠BP「DSEP」	粉	×	P	○		
テルチア配合錠BP「DSEP」		×	×	×		
★テルミサルタン錠40mg「日医工」	別		△	○(湿)	ハ	
トアラセット配合錠「DSEP」	別		△	○		
ドキサソシン錠2mg「サワイ」			○	○	ハ	
ドグマチール錠50mg			○	○		HBでは100mg、200mg錠のみ記載あり。
トコフェロールニコチン酸エステルカプセル200mg「サワイ」			○	×	ハ	軟カプセルの残骸が残る。カプセル剤皮がシリンジに付着、チューブへの付着量不明。
ドネペシルOD錠3、5、10mg「明治」			○	—	ハ	
トビエース錠4mg		×	×	×	ハ	徐放性製剤
トピラマート錠50mg「アメル」			○	○	ハ	
トピロリック錠20、60mg			○	○		
ドブスOD錠100mg			○	—		
トフラニール錠25mg、★10mg		×	×	×	ハ	
トラクリア錠62.5mg			○	○		水でも5分○、フラッシュをしっかりとる。
トラセミドOD錠4mg「TE」			○	—	ハ	
トラゼンタ錠5mg			○	○		
トラゾドン塩酸塩錠25mg「アメル」	別		△	○	ハ	
★トラディアンズ配合錠AP			○	○	×	
トラピジル錠100mg「日医工」	別		△	○	ハ	
トラベルミン配合錠	別		△	○	ハ	均一性注意
トラマールOD錠25、50mg			○	—		
トランサミン錠250mg	別		△	○(苦)	×	
トリアゾラム錠0.25mg「日医工」			○	○	ハ	
トリクロルメチアジド錠1mg「NP」			○	○	ハ	
トリプタノール錠10			○	○	ハ	
トレリーフOD錠25、50mg		注意	○	○		苦味あり。OD錠は、溶解時に注意が必要。
ドンペリドン錠10mg「日医工」	別		△	○		HBは5mg錠のみ記載有り。
ナイキサン錠100mg			○	○	ハ	
ナフトピジルOD錠75mg「EE」			○	○	ハ	
ナルサス錠2、6、24mg		×	×	×		麻薬、徐放性
★ナルラピド錠1、2、4mg		×	×	×		麻薬
ナルフラフィン塩酸塩OD錠2.5μg「フソー」			○	×	ハ	一包化は不可。
ニコチン散アミド散10%「ゾンネ」			良		ハ	
ニコランジル錠5mg「トーワ」			○	○	ハ	
ニセルゴリン錠5mg「サワイ」	別		△	条可(光)	ハ	光に不安定、HBでは簡易懸濁不可。施設判断。
ニバジール錠2、4mg			○	○	ハ	
ニフェジピンCR錠20mg「トーワ」		×	×	×	ハ	徐放性製剤
乳酸カルシウム「ケンエー」			良		ハ	
ニューベクオ錠300mg			×		×	
ニューレプチル錠25mg			○	条可(光)	ハ	
乳石錠500mg「ファイザー」			○	○	ハ	
ネイリンカプセル100mg			○	×		
ネキシウムカプセル10、20mg		注意	○*	○*	ハ	押し子の先端に顆粒の残渣あり。カプセル残渣による閉塞の可能性あり。ネキシウム顆粒20mgあり。
ネクサバル錠200mg		×	×	×	ハ	懸濁するが、チューブを閉塞。

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎脱カプセル	参考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)
ノイキノン錠10mg			○	条可(光)	ハ	容器、チューブに付着し、回収率低下の可能性あり。
ノイロトロピン錠4単位		×	×	×	ハ	吸湿により成分臭増す。
ノイロピタン配合錠	別		△	条可(光)	ハ	
ノバミン錠5mg			○	×(光)	ハ	
ノベルジン錠25、50mg			○	?	×	メーカーとして承認していないが、55℃、5分で8Fr OK、フラッシュ1~2回でチューブ閉塞なし。薬由来の酢酸臭がすることがある。
ノリトレン錠25mg			○	○(苦)		10mg(糖衣錠)のみ記載(○)あり。25mg(フィルムコート錠)は記載なし。
ハーフジゴキシンKY錠0.125mg			○	○	ハ	
パーロデル2.5mg		×	×	×(光)	ハ	(HBでは不可)
バイアスピリン錠100mg	粉	直前	P	○	ハ	胃腸障害のリスク有り。(施設判断)
ハイドレアカプセル500mg			○	×(調)	ハ	
バイナス錠75mg		×	×	一*	ハ	*データなし コンチンシステム
バクタミン配合錠			○	○	ハ	顆粒でも溶けるが錠剤のほうが懸濁性がよい。
バクタミン顆粒			?			
バゼドキシフェン錠20mg「サワイ」			○	○	×	フィルム片の混在あり。
バップフォー錠10			○	○	ハ	
パナルジン錠100mg	別		△	○	ハ	
バナシ錠100mg			○	条可(光)	ハ	
★バラシクロピル500mg「SPKK」	粉	直前	P	○	×	
パラミチンカプセル300mg	粉	直前	P	○	ハ	カプセル壊れない、脱カプセルでOK (HB)
バリキサ錠450mg	×	×	×	×		★バリキサDSを使用(施設判断)
バルサルタン錠「ケミファ」20、40mg			○	○	ハ	
パルモディア錠0.1mg			○	○		
★バレイショテンブ「ヨシダ」			良			
★パロキセチン錠10mg「SPKK」			○	○*		*4W安定
パントシン錠200mg		×	×	一	ハ	パントシン散を使用
パントシン細粒50%			良		ハ	懸濁しながら注入、多めの水で洗浄
パンピタン末			良			
PL配合顆粒			良		ハ	
ピーエイ配合錠			○	○	ハ	
ピオグリタゾン錠15mg「ケミファ」			○	○	ハ	
ピカルタミド錠80mg「サンド」		×	×	×	ハ	
ピ・シフロール錠0.125、0.5mg			○	○	×	
ピーゼットシー糖衣錠2mg			○	条可(光)	ハ	
ピソプロロールフルマル酸塩錠「トーワ」0.625、2.5、5mg			○	○	ハ	
ピタバスタチンCa・OD錠2mg「トーワ」			○	○	ハ	
ピドキサール錠10mg	粉腸	直前	P	条可(腸)	ハ	腸溶性 腸瘻のみ(施設判断)
ピブラマイシン錠100mg	粉	直前	P	○	ハ	苦味あり
ピムパット錠50、100mg			○	○		
ピメノールカプセル50mg			○	○	ハ	
ピモベンダン錠1.25mg「TE」			○	○	ハ	粉碎後40℃3ヶ月でわずかに退色
★ピラノアOD錠20mg			○	一	×	
ピラマイド原末			良			
ピルシカイニド塩酸塩カプセル25mg「サワイ」			○	×*	ハ	*局麻作用あり、舌のしびれ、食道腫張のおそれあり。
ピルナミン錠(25mg)	別		△	条可(光)	ハ	
ピルフェニドン錠200mg「日医工」			○	○	×	
ピレチア錠25mg			○	条可(光)	ハ	
ファスティック錠90			○	○	ハ	浮遊物あるが、通過性問題なし(HB)
ファモチジンOD錠10、20mg「トーワ」			○	一	ハ	
ファロム錠200mg	粉	直前	P	○	ハ	
フィコンパ錠2、4mg			○	○	ハ	
フェアストン錠60			○	×(調)	ハ	院外専用
フェキシフェナジン塩酸塩錠30、60mg「SANIK」			○	○		
フェノバル散10%			良		ハ	
★フェブキソスタット錠10、20mg「DSEP」			○	○		
フェログラデュメット錠105mg		×	×	×	ハ	徐放性剤
★フォシーガ錠5、10mg			○			施設判断
フォスブロック錠250mg		×	×	×		水で膨張しチューブがつまる。
フォリアミン錠5mg			○	×(光)	ハ	
フスコデ配合錠		×	×	○		フスコデシロップあり。
ブラケニル錠200mg	別		△	×	ハ	データなし。毒薬。

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎 脱カプセル	参考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)
プラザキサカプセル75、110mg		×	×	×		シートから出して1日で×(カプセルは特殊なものではないが内容物のみの投与でAUC上昇・150mgでAUC1.75倍)
フラジール内服錠250mg	粉	直前	P	条可(光)	ハ	温度の安定性データ無し。
プラバスタチンNa錠10mg「サワイ」			○	○	ハ	
★برانلكاست錠112.5「AFP」	粉	直前	P	○	ハ	
プリミドン細粒99.50%			良			
フルスタン錠0.3			○	条可(光)		粉碎遮光4週安定。同一薬の安定性はOK。
フルニトラゼパム錠1mg「アメル」			○	○	ハ	
ブルフェン錠200mg			○		ハ	HBは100mg錠のみ記載あり。
フルボキサミンマレイン酸塩錠25mg「アメル」			○	○(苦)	ハ	粉碎すると、苦味・しびれあり
★プレガバリンOD錠25、50mg「ケミファ」			○	—		
プレディニン錠50mg			○	○	ハ	少し残るが、フラッシュすると壊れて通過(HB)
★プレドニゾン錠1mg「VTRS」			○	○	ハ	
プレドニン錠5mg			○	○	ハ	
プログラフ顆粒0.2mg			良			
プログラフカプセル0.5、1mg			○	○	ハ	1mgのみ記載あり。(HB)
プロスター錠25mg			○	○	ハ	
フロセミド錠10、20、40mg「NP」			○	条可(光)	ハ	10mg、20mgのみ記載あり。(HB)
フロセミド細粒4%「EMEC」			良		ハ	
プロチゾラムOD錠0.25mg「サワイ」			○	—	ハ	
プロニカ錠80			○	○	ハ	
プロノン錠150mg			○	○	ハ	
プロパジール錠50mg	粉	直前	P	○		温度データ無し。40℃までOK。40℃付近ではすぐ溶けない。
プロブコール錠250mg「トーワ」			○	○(光)	ハ	
プロベラ錠2.5mg			○	×(調)	ハ	
フロモックス小児用細粒100mg			良		ハ	
フロリネフ錠0.1mg			○	○	ハ	
ペオーバ錠50mg			○	○		
ペタニス錠25、50mg		×	×	×(徐)		徐放性製剤(フィルムコーティング)
ペニジピン塩酸塩錠4mg「サワイ」	別		△	○	ハ	
ハパアクト配合顆粒		×	悪			
ベプリコール錠50mg			○	○	ハ	
ベポタスチンベシル酸塩OD錠10mg「タナベ」			○	○	ハ	
ベムリディ錠25mg		?	?	?		
ベラサスLA錠60μg		×	×	×	ハ	徐放性
★ベラプロストナトリウム錠20μg「テバ」			○	○	×	粉碎・・・強い刺激性
ペリアクチン錠4mg			○	○	ハ	
ペリアクチン散1%			良			
★ベリキューボ錠2.5、5、10mg			○	○	×	
ベリチーム配合顆粒(0.5g/包、1g/包)		×	悪		ハ	注入器に入らない
ペルサンチン錠25mg			○	条可(光)	ハ	
ベルソムラ錠15、20mg		×	×	×		
ベンザリン細粒1%			良		ハ	
ボグリボースOD錠0.2mg「武田テバ」			○	—		
ホスミシン錠500			○	○	ハ	
ホスリボン配合顆粒100mg			良			
ホスレノールOD錠250mg			○	—		
ポラキス錠2			○	条可(光)	ハ	
ポラプレジックOD錠75mg「サワイ」			○	—	ハ	
ポリコナゾール錠50、200mg「DSEP」			○	○	ハ	
ホリナート錠25mg「タイホウ」			?	?		
ポルタレン錠25mg	別		△	○	ハ	
マイスタン錠10mg			○	○		融点182℃。
マイスタン細粒1%			良		ハ	
マイテラーゼ錠10mg			○	○	ハ	錠剤少しの残るが、フラッシュでOK(HB)
マグミット錠250、330mg	別	単独	○	—	ハ	配合変化多い。必ず単独投与で、前後にフラッシュが必要。
マーズレンS配合顆粒(0.5g/包、0.67g/包)			良		ハ	
マヴィレット配合錠		×	×	×		
マーロックス懸濁用配合顆粒			良			
ミグシス錠5mg			○	○	ハ	
ミニリンメルトOD錠 60、120μg		×	×	×		口腔内粘膜からの吸収も想定した製剤。

医薬品名	入力	経管投与	記載	粉碎 脱カプセル	参考	備考	2023.10月改訂 (★薬剤追加)
ミネプロ錠2.5mg			○		×		
ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」			○	○	ハ	2版△→3版○	
ミノドロン酸錠50mg「サワイ」			○	×	ハ		
ミヤBM錠			○	散薬あり			
ミヤBM細粒(1g/包)			良				
ミラペックスLA錠1.5mg		×	×	×		半錠も不可。	
★ムコサル錠15mg			○	○			
メイアクトMS小児用細粒10%			良		ハ		
メイラックス錠1mg			○	○	ハ		
メキシレチン塩酸塩カプセル100mg「サワイ」			○	○	ハ		
★メサペイン錠5mg		×	×	×		麻薬	
★メサラジン錠500mg「ケミファ」		×	×	×	×	粉碎不可(放出調整剤)	
メジコン錠15mg			○	○	ハ		
メスチノン錠60mg			○	○	ハ		
メソトレキセート錠2.5mg		×	×	×	ハ	抗癌剤のためカテーテルチップを使用。	
メチコパール錠500μg			○	×	ハ		
メトグルコ錠250mg	別		△	○		できるだけ細かく砕いたほうがよい	
メトトレキセート錠2mg「タナベ」			○	○	ハ	抗癌剤のためカテーテルチップを使用。	
メトリジンD錠2mg			○	—	ハ		
メドロール錠4mg			○	○	ハ		
メネシット配合錠100			○	○	ハ		
メブチン錠50μg			○	○	ハ		
メマンチンOD錠5、20、10mg「DSEP」			○	—			
メルカゾール錠5mg(★粉→△)	別		△	○	東	*糖衣錠からフィルムコーティング錠へ変更	
モービック錠10mg			○	○		60℃暗所1ヶ月変化無し。	
★モサプリドクエン酸塩錠5mg「日医工」			○	○	ハ		
モビコール配合内用剤LD			○				
モンテルカスト錠10mg「KM」	別		△	×		施設判断にて、簡易懸濁可。	
ユーエフティ配合カプセルT100			○	×		UFT顆粒はチューブにつまるので不可。抗癌剤のためカテーテルチップを使用。	
ユーエフティE配合顆粒T100、T150		×	悪		ハ		
ユナシン錠375mg			○	○	ハ		
ユニフィルLA錠200mg		×	×	×	ハ	徐放性	
ユベラ錠50mg		×	×	×	ハ		
★ユリス錠0.5、1、2mg			○	○	×		
ユリノーム錠50mg			○	条可(光)	ハ		
★ラゲプリオカプセル200mg			?	?		データなし、脱カプセルは可能	
ラックビー微粒N(1g/包)			○				
ラニラピッド錠0.05mg			○	○	ハ	0.1mgのみ記載あり(HB)	
ラフチジン錠10mg「サワイ」			○	○	ハ		
★ラベプラゾールNa錠10mg「VTRS」		×	×	×		腸溶性(胃酸で失活)	
★ラマトロバン錠75mg「KO」		×	×	×	×	徐放性コーティング	
ラミクタール錠25、100mg			○	—	ハ	水に簡単に溶ける。	
ラミシール錠125mg			○	○	ハ		
ランソプラゾールOD錠15mg「武田テバ」	別	直前	□	—	ハ		
ランドセン錠0.5mg			○	○			
リアルダ錠1200mg		×	×	×		冷所保管	
リーゼ錠5mg			○	×	ハ	*遮光	
リオナ錠250mg		直前	△*			破壊し、直前に懸濁	
リオレサル錠5、10mg			○	○	ハ	5mgのみ記載あり(HB)	
リクシアナOD錠15、60mg			○	—			
リザベンカプセル100mg			○	条可(光)	ハ	*光に対して不安定。遮光が必要。	
リズミック錠10mg			○	○	ハ	高温高湿度で不安定。	
リスモダンカプセル50mg			○	○	ハ	HBに、100mgのみ記載あり。	
リスモダンR錠150mg		×	×	×	ハ	徐放性	
リセドロン酸Na錠75mg「日医工」		注意	○	注意		患者限定薬。*リスク有り(30分間の坐位または立位が必要)、相談を。単独投与、30分あける。錠剤はそのまま5分で溶ける。	
リネゾリド錠600mg「明治」			○	○	ハ		
リパクレオンカプセル150mg		×	×	○*		*脱カプセルは可。腸溶性顆粒のため粉碎は不可。	
リピディル錠80mg			○	○*	ハ	*25℃ 75% 遮光 1ヶ月安定	
リファンピシンカプセル150mg「サンド」			○	○	ハ		
リフキシマ錠200mg		×	×	×	ハ		
リフレックス錠15mg			○	○*	ハ	*防湿遮光必要	

医薬品名	入力	経管 投与	記載	粉碎 脱カプセル	参 考	備考 2023.10月改訂 (★薬剤追加)
★リベルサス錠3、7、14mg		×	×	×		吸湿性強く、光に不安定
リマチル錠100mg	別		△	×	ハ	
リマプロストアルフアデクス錠5μg「サワイ」			○	○	ハ	○→△ (○15分長めだとOK)
リルテック錠50	別		△	○	ハ	
リンゼス錠0.25mg		注意	○*	×	×	*懸濁しにくい可能性あり
リンデロン錠0.5mg			○	○	ハ	
ルーラン錠4mg			○	○*	ハ	*1か月まで。苦味あり
ルジオミール錠10mg			○	×	ハ	*舌麻痺
★ルセフィ錠2.5、5mg			○	○	×	
ルパフィン錠10mg			○	○	×	
★ルリッド錠150			○	○	×	院外専用
レキップ錠1mg			○	○	ハ	55℃遮光1ヶ月。50℃3ヶ月安定、⇒温度OK。
レキップCR錠2mg		×	×	×		徐放性
レクサプロ錠10mg			○	○		25℃75%開放3ヶ月外観、含有量変化なし。(苦味あり)
レクチゾール錠25mg			○	○	ハ	
レグナイト錠300mg		×	×	×		半錠も不可
レグパラ錠25mg			○	○		
レザルタス配合錠HD		×	×	×		半錠も不可
レトロゾール錠2.5mg「サンド」			○	×		
レパグリニド錠0.5mg「サワイ」			○	○	×	
レバチオ錠20mg			○	?	ハ	8~18FrOK (メーカー)
レバミピド錠100mg「オーツカ」			○	○	ハ	
★レベチラセタム錠250、500mg「トーワ」			○	○		
★レベチラセタムDS50%「トーワ」			良			
レベトールカプセル200mg	別	直前	□*	×		高温不可。30℃で12ヶ月安定。水に溶けやすい。
レボセチリジン塩酸塩錠5mg「YD」			○	○	×	長めに。
★レボトミン錠25mg			○			院外専用
レボフロキサシン錠500mg「DSEP」	別		△	○		散剤は、簡易懸濁不適。
レボフロキサシン細粒10%「DSEP」			悪		ハ	
レボレード錠12.5、25mg		×	×	×		
レルパックス錠20mg			○		ハ	8~18FrOK。
★レルミナ錠40mg			○	×	×	院外専用
レンビマカプセル4、10mg			○		ハ	有効性、安全性は確認されていないが、55℃10分で懸濁可能。懸濁するとカプセルの被膜と同じオレンジ色の薬液になる。
ロイコン錠10mg			○	○	ハ	
ロカルトロールカプセル0.5			○	×	ハ	液状成分。チューブへの付着量不明 (HB)
ロキソプロフェン錠60mg「EMEC」	別		△	○	ハ	
ローコール錠20mg			○	×		院外専用
ロサルタンK錠25mg「DSEP」	別		△	○	ハ	
★ロサルヒド配合錠LD「VTRS」	別		△	○	ハ	
ロスバスタチンOD錠2.5mg「DSEP」			○	ー		
★ロズリートレカプセル100、200mg		×	×	×		データなし、抗がん剤
ロゼレム錠8mg	別		△	○		粉碎後遮光して1ヶ月安定
ロトリガ粒状カプセル2g		注意	○*	×		注意：ポリスチレンの容器は溶ける。ガラス又は金属容器で溶解させるほうがよい。
★ロペラミド塩酸塩カプセル1mg「サワイ」			○	○		
ロペラミド錠1mg「EMEC」			○	ー*	ハ	患者限定。*崩壊しやすいため粉碎の必要なし。
ロンサーフ配合錠T15、T20			○	×	ハ	抗癌剤のため、カテーテルチップを使用
ワーファリン錠0.5、1mg			○	条可(光)	ハ	光に不安定。温度、湿度は影響なし。1mg錠：1000ルクス10hr 2ヶ月後70%に含量低下。
ワソラン錠40mg	別		△	条可(湿)	ハ	
ワントラム錠		×	×	×	×	徐放性剤のため

医薬品名	入力	経管 投与	記載	粉碎 脱カ ^o セル	参 考	備考
略語の説明						
入力	別：別包、粉：粉碎					
経管投与	腸：腸ろうのみ投与可（腸溶性） 直前：投与直前に懸濁させる。（高温では安定性×など）単独：単独で投与する。Fr注：チューブの最小通過サイズに注意（当院 経鼻胃管：8Fr、胃ろう：14Fr、腸ろう：8Fr） 注意：その他注意事項を備考に示す。					
簡易懸濁可否 最小通過サイズ8Fr	○：そのまま懸濁可能、△：コーティングを破壊すれば懸濁可能、□：投与直前に懸濁させる。×：懸濁不可能 ○水：高温での安定性は不明だが、水でもすぐ懸濁できる。					
粉碎、脱カ ^o セル可否	○：粉碎、脱カ ^o セル可、×：粉碎、脱カ ^o セル不可、条可：条件によっては粉碎、脱カ ^o セル可、注意：備考欄参照 光：光によって、着色、分解などの可能性あり。長期調剤では遮光が必 腸：腸ろうのみ粉碎、脱カ ^o セル可。 潮：潮解性あり。 湿：湿度によって、安定性が変わる可能性あり。適宜除湿の必要性あ 徐：徐放性製剤、粉碎、脱カ ^o セルによって徐放性が損なわれる可能性あ 調：調剤者に被爆のおそれあり。 動態、動：粉碎、脱カ ^o セルによって薬物動態が変化する可能性あり。 温：温度によって、安定性が変化する可能性有り。 苦：粉碎または脱カ ^o セルすることによって、苦味が出る可能性あり。 刺激：刺激性あり。					
HB記載	ハ：内服薬経管投与ハンドブック第4版（HB）記載有り 空欄・・・記載なし メ・・・メーカーデータ					